

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 世界市民として自立し、探究心、知識、思いやりに富み、豊かな世界観を身に付けたグローバルリーダーの育成に向けて、質の高い英語教育、多様な言語や文化の学び、及び探究的な学びを重視した国際教育の取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際科及び国際バカロレアコースの特色ある教育課程を生かし、2つの教育課程間を含む教科等横断的なカリキュラム・マネジメントを推進する。 ICTの利活用を図り、みずから課題を発見し課題解決を図る探究学習を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの教育課程に共通した校内授業研究テーマを設定し、それに基づき各教科で授業研究を進め、その取組の成果を公開研究授業で検証する。 探究活動を深めるための授業研究を進めるとともに、探究の成果発表会の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校としての校内授業研究テーマ及び各教科の研究テーマを設定し、それに基づく授業研究を進めて、公開研究授業を実施できたか。 総合的な探究の時間において、学習目標の達成に向けた取組が実施できたか。 					
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 多様で柔軟な生徒支援体制及び相談体制を推進し、規範意識を身に付けさせるとともに、生徒の自己理解と相互理解を深めるきめ細かな指導・支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校外の教育力も活用し、生徒の状況を把握するとともに、職員間の情報共有を図り、適切な指導・支援につなげる。 学校生活を通じて生徒に自主自立の力が身に付くように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> SCやSSW等との連携、ケース会議の開催等とおして職員の情報共有を図り、生徒が抱える課題の把握及び適切な指導・支援を行う。 生徒の自主的な活動や行事等とおして自主自立の力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> かながわサポートドックの効果的な活用を含め、生徒の課題の把握及び適切な指導・支援が実施できたか。 学校行事や部活動等、生徒の主体的な活動を支援できたか。 					
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 海外を視野に入れた生徒の進路希望の実現に向け、学習意欲を高め、幅広い学力の習得と定着を図り、組織的計画的な進路指導を行う。 生きる力の育成を目指し、自主的に将来の進路や職業について深く学び、人生設計ができる資質能力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の授業に積極的に取り組む姿勢を身に付けさせるとともに、みずからの学力を的確に把握し、将来の目標設定ができる力を育成する。 生徒個々の進路希望の状況を踏まえ、総合型選抜から一般選抜まで、多様な入試に対応できる進路指導体制の構築を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 国内及び海外への進学に向けて3年間を見通した系統的な指導を実施する。 カレッジカウンセラー及び学校外の教育力も活用しながら、進路実現につながる情報の収集を進め、適切なタイミングで進路説明会や面談等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンスルームの整備と充実、チューター制の活用推進、模試の効果的な振り返り等によって、3年間を見通した計画的な進路指導体制をつくれたか。 学校外の教育力も活用しながら、生徒及び保護者に時機を得た情報提供を行って、進路実現につなげることができたか。 					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題や社会奉仕について取り組み、生徒が主体的に関わりながら、地域に開かれた学校づくりを行うとともに、地域社会や国際社会に貢献できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動の推進、学校運営協議会の活用及び地域の町内会や小・中・特別支援学校等との連携をとおして、地域社会に開かれた学校づくりを推進する。 高大連携や各種NPOとの連携等を通して、国際社会に貢献する意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会や学校ホームページの充実を図るとともに、地域と連携した取組を推進する。 高大連携協定を結ぶ東京外国語大学や清泉女子大学との連携を充実させるとともに、生徒が自主的に進める各種NPOとの連携を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校を志望する中学生やその保護者、及び一般県民をはじめとした外部に本校の魅力が伝わる学校説明会ができたか。また、充実した学校ホームページを作成することができたか。 大学や各種NPOとの連携等を通じて、国際社会に貢献する意識の醸成ができたか。 					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスに配慮した教員の働き方改革を推進する。 生徒の安心・安全のために教育環境を整備し、併せてコンプライアンスの徹底、事故・不祥事防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTの利活用等によってペーパーレス化に向けた取組を進め、会議時間の短縮を図る。 施設設備の点検と確認を進めるとともに、避難訓練の充実を図る。また、事故・不祥事防止に向けた取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT環境のさらなる整備を進めると同時に、その活用を図る取組を推進する。 危険につながる箇所の点検や確認を進めるとともに、実際の場面を想定した効果的な避難訓練を実施する。また不祥事防止の研修等を通じて事故・不祥事につながる事案の背景や防止策について職員で情報共有を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議のペーパーレス化を進めることができたか。また、働き方改革に向けた取組を推進することができたか。 定期的に施設設備の点検を行うとともに、工夫ある避難訓練が実施できたか。また、事故不祥事防止につながる研修を実施できたか。 					